

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2010年6月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

クレジットデリバティブ:

6月18日、ISDAは金融庁と、中央清算機関を通じたクレジットデリバティブの清算義務に関する会合を行い、6月8日に金融庁宛に提出した要望書の内容について話し合いを行った。論点は、中央清算機関を通じた清算義務の規制対象となる当事者や商品、クロスボーダー取引における当局間での規制の調整、顧客向け清算サービス(清算取次ぎ)を介して清算された取引の取り扱い、その他導入前の追加計画等。

金融庁からは、具体的な清算集中義務の対象者及び対象商品については、2011年中を目途に公布を予定している内閣府令で明確化される予定であることが示された。施行までには2年以上あるが、2012年中に導入するために対処しなければならない諸問題の複雑性に鑑みると決して十分な時間があるとはいえないため、できる限り早い時期に詳細を示してほしい旨を金融庁に要望した。

18日に行われた本ミーティングのフォローアップとして、6月29日にJapan Credit CCP Working Groupのミーティングが開催された。金融庁からのコメントに関して再検討を行い、ワーキンググループでとるべき次のアクションについて話し合った。次回のミーティングは7月後半に開催の予定。

Operation: 担当難波(knamba@isda.org)

6月10日、Morgan Stanley証券のOliver Stuart氏(Managing Director, Global head of Derivative Operations)をゲストスピーカーとして迎えてJapan Operations Committeeのミーティングが開催された。Stuart氏からは、FEDレター上のコミットメントや中央清算機関による清算イニシアチブ等を含むグローバルなオペレーションに関する諸問題についてアップデートが行われた。Stuart氏は、ISDA Operations Steering Committee (OSC)の共同議長であり、また、ISDA Industry Governance Committee(IIGC)の有力なメンバーでもある。

Credit Derivatives 担当難波(knamba@isda.org)

マーケットプラクティス:

ISDAは、2010年ISDA Japanese Credit Derivatives Market Surveyの結果をコミッティメンバーに報告した。この年次市場調査は、本邦の主要商品の取引量を計り、また本邦クレジットデリバティブ市場の発展を妨げる要因を明確にすることを主目的としている。

オペレーション:

6月3日、ISDAは“Strategic Restructuring”(Trade Information WarehouseにおけるRestructuringクレジットイベントのプロセッシングに対する戦略的アプローチ)に関するオペレーション上のベストプラクティスについてアップデートするための電話会議を開催した。DTCC Deriv/SERVの関係者が、予定されているリリーススケジュールと機能モジュールの概観についてプレゼンテーションを行った。

Weather, Commodities & Developing Products: 担当森田(tmorita@isda.org)

原油及び石油製品の取引に関するISDA Commodity Surveyが、Japan WCDPコミッティメンバー、その他グローバルコミッティとワーキンググループのメンバーに回覧された。本サーベイは、規制当局によって行われているOTC Commoditiesの透明性を向上させることを目的とした取り組みの一環である。調査結果は7月30日に監督者に提出される予定。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Understanding the ISDA Master Agreements Conference
Happo-en, Tokyo
(英語と日本語によるコンファレンス)

7月29日

“Consent = Confirmation” industry education call
(英語による電話会議)

tbc